

2013年 4月 25日  
昭和電線ケーブルシステム株式会社

### 超細径高密度光ファイバケーブルの販売開始

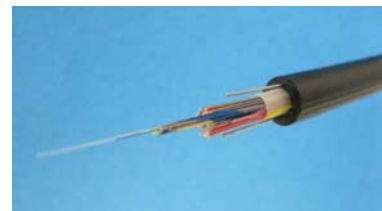
昭和電線ケーブルシステム株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：山田眞彦）は、架空及び引上区間配線用の『超細径高密度光ファイバケーブル』を、NTTアクセスサービスシステム研究所殿と共同開発し、2012年7月より東日本電信電話株式会社殿、西日本電信電話株式会社殿へ納入開始しました。今後は国内外の幅広いユーザー様を対象に販売を拡大してまいります。

#### ■ 製品の特長

光ファイバケーブル構造を大幅に見直すことにより、光ファイバ心線の実装密度を高め、従来構造と比較して

**最大で約40%の細径化 約60%の軽量化**

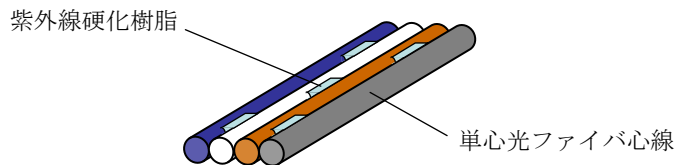
を実現しました。ケーブルの細径化は、布設スペースを有効活用でき、さらに軽量化することで布設時の張力を小さくでき、布設作業の効率化を図ることが可能となります。



<外観写真（200心）>

#### ・間欠接着型光ファイバテープ

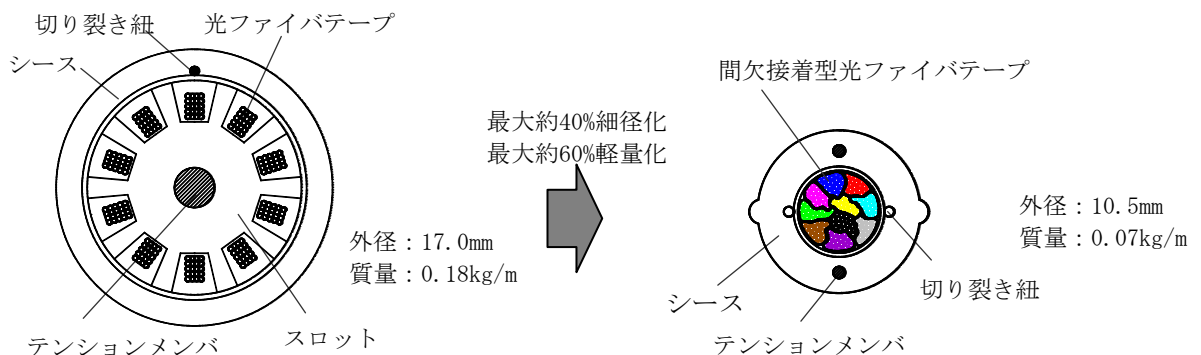
隣接する2心の単心光ファイバ心線が長手方向に間欠的に連結され、単心部と接着部が周期的に配置された構造です。従来テープ心線同様に一括接続が可能です。



<間欠接着型光ファイバテープ構造例>

#### ・スロットレス構造の光ファイバケーブル

従来のスロットを使用しない構造により細径・軽量化を実現しました。心数は24、40、60、100、200心で、ケーブル構造は、丸型、自己支持型をラインアップしています。ケーブル部の軽量化に伴い支持線も細径・軽量化しています。



<従来光ケーブル例（200心丸型）>

<超細径高密度光ケーブル（200心丸型）>

以上

本件に関するお問い合わせ先

昭和電線ホールディングス株式会社 経営企画部 IR・広報グループ 菅井 TEL 03-5404-6951